

平成 30 年度 第 3 回にしお男女共同参画市民会議 議事録

日時	平成 31 年 1 月 31 日(木) 午後 1 時 30 分～		
場所	西尾市役所 会議棟 第 3 会議室		
委員	出席者	赤堀正光 尾崎啓子 加藤晴子 鈴木順充 渡邊美恵子 加納真由美 下野坊由香里 柳本祐加子 順不同敬称略	
	欠席者	大嶋信吾 嶋崎恵美子 鈴木清子 浅井聡美	
事務局	地域振興部	地域支援協働課	課長 永山広治
	地域振興部	地域支援協働課	課長補佐 蛭川洋行
	地域振興部	地域支援協働課	主査 越野弘幸
	地域振興部	地域支援協働課	主事 黒野真衣
	(株)ジャパンインターナショナル総合研究所		津田成美

(事務局)

皆さま、こんにちは。地域支援協働課の蛭川である。ただ今より「平成 30 年度第 3 回にしお男女共同参画市民会議」を開催する。1 時間半程度を予定しているため、ご協力をお願いしたい。

また、本会議の公開の取り扱いについて、西尾市審議会等会議の公開に関する要綱に基づき、公開を決定している会議である。会議内容についてはホームページ等で公開する事となる。

<資料の確認>

1 あいさつ

(事務局)

開会に先だち、地域支援協働課課長の永山よりごあいさつを申し上げます。

(事務局 永山課長)

皆さま、こんにちは。本日はご多忙のところ、本会議に出席いただき、また、日ごろは西尾市の男女共同参画事業に各立場でお力添えいただいていることをこの場を借りて御礼申し上げます。男女共同参画プランの策定状況について、本会議委員の皆さまからご承認をいただければ、完了となる。このプランは社会状況の変化に伴う価値観やライフスタイルが多様化する中で、個性を認め合い、固定的な性別役割分担意識に捉われることなく、市民一人ひとりが理想とする生き方や暮らし方を実現できるプランとなるよう、皆さま方をはじめとする多くの方々にご意見をいただきながら、策定してきた。内容は策定段階を終えてほぼ完成された形である。提案などがあれば、よろしく願います。

(事務局)

ここからの議事進行は会長の加藤様にお願いします。

2 議題

(1) パブリックコメントの結果について

(2) 第2次西尾市男女共同参画プラン〔改定版〕(案)について

(加藤会長)

それでは、議題(1)パブリックコメントの結果について、また(2)第2次西尾市男女共同参画プラン〔改訂版〕(案)について、事務局より説明をお願いします。

<事務局より、(1)パブリックコメントの結果、(2)第2次西尾市男女共同参画プラン〔改訂版〕案について【資料1】に基づき説明>

(加藤会長)

膨大な資料だが事前送付いただいているので、ご覧いただいだろう。感想やご意見をいただきたい。今のお話の中でも教員についてのお話もあった。下野坊委員、何かあるか。

(下野坊委員)

以前に比べて男女共同参画に対する理解は深まってきたと思うが、不十分な所もあるので研修をしていくことは大切だろう。ただ、仕事も多いため、時間の捻出は考えていかねばならない。

(加藤会長)

新聞かテレビ報道で、西尾市は部活動が盛んで教員も土日も出てくる人が多く、何とかしなければいけないという風潮がみられる。それについてはいかがお考えか。

(下野坊委員)

愛知県内で朝部活動を行っているのは、西尾市含め2自治体しかないと聞いている。部活動の捉え方も徐々に変わってくると考えている。

(副会長)

町内会でも自主防災会でも、実働部隊は女性でも名簿の名前はご主人だ。なぜ女性の名前を載せられないかという、女性の名前を載せると奥さんが出しゃばりだとか、外に出るのが好きだと言う方がいるのと、男性たちもそういう目線であるからだ。そのため、足を踏み入れることを恐れてしまう。しかし、私たちの下の世代よりは、「やりたい人がやればよい」という考えがある。70歳代の方たちの意識を変えるのは難しいかもしれないが、長い目線で10年先を見据えて働きかけていけば少しずつ変わっていくと思う。今も、どんどん参加してほしいと言われるが、何か

言われるのではと怖がってしまう。

(加藤会長)

赤堀委員も男性委員としてずっと参加いただいている。お茶関係のお仕事をされているが、様々な見聞きしたことも含めてご意見願う。

(赤堀委員)

私のところでいえば、女性がしっかりと意見を言われ、女性の意見に耳を傾けて、最終的にその意見になることが多い。昔からの集まりや組合など様々な会があるが、男性ばかりで集まる所もあれば、女性が来ているものもある。女性の意見が反映されるようになってきていると感じる。役職上は男性だが、意見を上手にまとめてしてくれるのは女性かと思う。

(加藤会長)

高齢で配偶者が亡くなってしまった場合、女性は以前にも増して元気になっている。昔から男やもめに蛆がわく、というように、男性の場合は平均寿命が一般的に女性より短い、寿命にも関係するのかと思う。鈴木委員、いかがか。

(鈴木委員)

西尾信用金庫に入った20数年前は支店長等役職についているのは全て男性だったが、5年前ぐらいから女性活躍が推進され、西尾信用金庫でも女性が活躍できる風土が少しずつできている。女性の支店長や役職者も増えてきた。しかし、最近では女性が上の役職になりたくない、なれない、といった現状が見えてきた。会社が実力主義的な組織体制をつくっても、旦那に理解がなく家にいなければいけない、早く帰らなければいけない、一緒に暮らしている義理父母からのプレッシャーがある、といった家庭環境に理解が足りない現状だ。会社だけではまだまだ弱く、その先の方法まで考えねば女性も管理職にはなりえない。首尾一貫として男女平等の感覚になるには時間がかかるのかと考える。

(加藤会長)

西尾信用金庫の方にはこの会議にずっと参加いただき、貴重なご意見をいただいた。私の同級生の娘は昔、東海銀行（現在は三菱UFJ銀行）に勤め、窓口で接客を行っていたそうだが、外交で我が家まで来てくれたことがある。その人は外交の仕事が好きだと言っていた。男性でも窓口対応が好きな人もいるだろう。また、重機を動かすことだって、女性でもできる。人間の仕事がなくなりAIに取って変わられると盛んに言われているが、昔に比べると働くことについて男女差はないのではないかと思う。

(鈴木委員)

職場に関しては男女平等で働ける体制になっていても、女性本人が出てきづらい課題もある。

(加藤会長)

女性がなぜ責任を持ちたくない、と言わざるを得ないかまでは考えてくれている。

(加納委員)

私は現在、民生委員だけでなく主任児童委員も務めている。民生委員の会議に出ると男女半々だが、主任児童委員はほぼ女性だ。13 ページ「■地域の委員の女性の割合の推移」をみると、町内会長や衛生委員は男性が多く、民生委員や児童委員は女性が半数以上とある。主任児童委員は子育て経験がある人や地域のことをよく知っている人が行うといたため推薦され、受諾される。衛生委員はゴミの扱い等、力仕事が多いが、町内で若い方がたくさん参加することはないため、ある程度お年を召している重鎮の方々がやられている。独居高齢者が委員を務める場合もあるが、男女共同のみならず高齢社会も含めてお互いできることをやるという現実だ。委員で男女差が出てしまうのは自然なことであり、地域の状況に即して決めていることが多いのではないかと思った。

(加藤会長)

「ジェンダークォーター制」は日本語に訳すと「割り当て」となる。韓国などは早くにジェンダークォーター制を取り入れているが、日本でも無理やりでもジェンダークォーター制を行い、男女両方の目線とした方がいいのか、その発想はまだ出てこないか、と感じている。最近まで私と同じ仕事をしていて、校長を辞められてからも5年間市教育委員会で市の仕事にも関わっていた尾崎委員はいかがか。

(尾崎委員)

企業と、実社会や地域には乖離があると感じる。現状、男女共同参画に関して、家庭環境や個人の問題がクリアできないとしても、企業は社会からのニーズで男女共同参画が進められており、それ自体は非常に意味のあることだと思う。また、女性は女性の適材適所があると考え。諸外国に見習う所もあるが、日本の国土、西尾市の風土に合ったいい形が取れるのではないか。西尾市は保守的な所もあるが、少しずつ変わる目を持ってきていると非常に強く思う。しがらみや規定に捉われている人も変わっていくチャンスを与えていかねばならないが、若年層にいかにも男女共同参画意識を持たせていくかが非常に重要だ。家庭環境を変えていく上で子どもたちのことを考える必要がある。この会議で皆さんからの意見を聞き、様々な資料をみたことは、教員として非常に責務は大きい。私は教員としての最後を中畑小学校の校長として勤めた。中畑は地域の結束力が強かったが、地域防災の時に地域の大代表となる人や区長、その代表は全て男性だった。しかし、実務では女性が非常にリーダーシップを発揮し、時には男性に意見する姿を見て、これが中畑小学校区のやり方だと思った。これからは女性も代表となって出てくる時代に入るだろう。企業が社会からのニーズに応えるように、地域にもニーズがあるので、女性でも「あの人に出てほしい」といえる土壌をつくるのが大切かと思う。

(加藤会長)

理想と現実の差は大きいだろう。

(尾崎委員)

実務では女性が蚊帳の外ではなく、深く入れるようになった。それと関連するが、資料1の71、72ページ「(2) 委員名簿」の推進委員会の女性の人数では、2017年は1人、2018年は2人である。一方、ワーキングスタッフの女性の人数では、2017年は10名入っている。つまりワーキングチームという実務部隊に女性が多数いるということだ。実際に中身の関するところで、女性が意見を言って、まとめるところに関わっているのかと思う。

(事務局)

推進委員は課長に参加していただいている。ワーキングチームスタッフは、各課に主査以上の職員にお願いしているが、課の中で参加に適した職員を選出していただいている。課長の役職の女性があまりいないが、実際はその年代の女性職員自体が少ない。主査クラスだと女性が多くいるということが理由としてあるかと思う。

(尾崎委員)

女性が10人ならば男性が薄くなるかもしれない、同数ならいいということではないが、考えていかねばならない。調整する必要があるかもしれない。例えば、学校現場での実務部隊は教務主任という役職だ。私が現職のころは、教務主任の7割程度が女性だった。つまり、実務のエース級が女性であり、頼りになるので、校長からも認められた人たちが動いている。西尾市はいい方向に動いていると思う。

(3) 第2次西尾市男女共同参画プラン〔改訂版〕概要版(案)について

<事務局より、第2次西尾市男女共同参画プラン〔改訂版〕概要版(案)について【資料2】に基づき説明>

(加藤会長)

1ページ目のイラストであるが、性別が分かりづらい。見送っているのは祖母かと思ったが、男性ということか。

イラストを差し替えたということだが、庁内の会議で意見が出たのか。

(事務局)

イラストについてはジャパン総研から提供していただいております、イラストを差し替えたものは庁内の会議の意見を反映したものである。

(柳本委員)

差替え前のイラストの性別が分かりにくくなっている件について、経緯をお伝えしたい。もともとは、女性保育士が見送り、子どもを預ける女性はスカートのスーツだったが、それを変えてはと申し上げた。内容としては、女性をパンツスーツ姿にしてはということと、保育士には男性もいるということ。また、男性の保育士だからといって、エプロンが青ではなく、性に中立的な

ものがいいと申し上げ、それを反映した絵となっている。保育士の輪郭は女性に見えるかとも思ったが、左側の料理をしている輪郭が角ばったような男性だけではなく、ふっくらした輪郭の人もいるし、LGBTで性別を変更する人もいるので良いかと思った。しかし、祖母が面倒を見て女性が働きに出る姿と見えるなら、従来型でしかないのを修正した方がいい。この絵を基にするなら男性保育士と分かるような典型的な顔の骨格の方がいい気がする。差替え版の方も、説明している女性が男性たちに意見を問う形、つまり実働隊で女性が頑張っているように見えるかもしれない。また、「男の料理」という言葉があるように、料理については好んで行う男性もいる。赤ちゃんをお風呂に入れる男性のイラストも提案があったが、それについても、おもしろそうやってみたい、という男性は多いと思う。むしろ心の中ではやりたくないと思うような家事をしている絵はいかがかと申し上げた。そこで私が出したアイディアは、洗濯物を取り込んで片付けている所や食器を片付けている所など、男性が喜んでほしくないものだ。

(赤堀委員)

産婦人科に行くと、お父さんの教室がある。お風呂の入れ方の教室もあり、実際にお風呂に入れる。最近、私の兄にも子ができ、風呂に入れると言っていたが飽きてきたようだ。自分がやりたい時にやるので、「勝手だな」と言っている。お風呂だけではなく、相手が忙しいなら自分がしようという思いやりが大事かと思う。

(柳本委員)

基本事項の「実現に向けて」に「家庭でも、職場でも、お互いに助け合い、応援し合うことがとても大切です。」とある。女性は気が向く向かない関係なくやらなければならない。気が向いたらしてもいいかもしれないと思われている家事や職場の仕事を、男性が率先して行っているイラストがいいかと思う。

(鈴木委員)

イラストの印象から考えると差替え前の方が、インパクトがあると思う。1ページ右側のイラストは女性同士と一緒に暮らしている姿だと私も判断した。しかし、文章内に「LGBT」という言葉があるため、そういう社会もあるという意味で捉えた。こういう社会や料理をする姿がある世界が身近である、として一番納得できた。差替え版は、そういうインパクトとしては薄く感じる。

(柳本委員)

鈴木委員が言われたように、インパクトは必要だと思う。料理は見慣れた光景であるし、これまでの男女共同参画関連のパンフレットにもよく出ている気がする。

(副会長)

ゴミ出しもよく男性がやる家事としてあがるが、ごみを出せる状態にしてあるものを持っていくだけで、分別やごみを集めることはしないことが多い。料理も、献立を考えて買い物し、冷蔵庫に入れて仕分けすることも含めて料理だと思う。調理するだけが料理ではないということに分

かっている男性も多い。

(加藤会長)

料理好きな人はつくってはくれるが、後片づけはそのままだと怒っている人もいた。私の旦那も、半世紀以上かかって、テーブルから流しに自分の食器を運ぶことをここ数年で行ってくれるようになった。

イラストについては、差し替え前の方がインパクトがありいいと思う。加えて、日頃男性がやらない家事等を載せた方がいいかと思う。

(事務局)

ジャパン総研と相談する。料理の絵に代わるものはデザイン案があるか含めて検討するが、もしかするとこのままかもしれない。一旦はこの絵で進めていく。

3 その他

(事務局)

<事務局より、今後のスケジュール、中小企業女性活躍セミナー、ばらネット総会&記念公園開催について説明>

以上